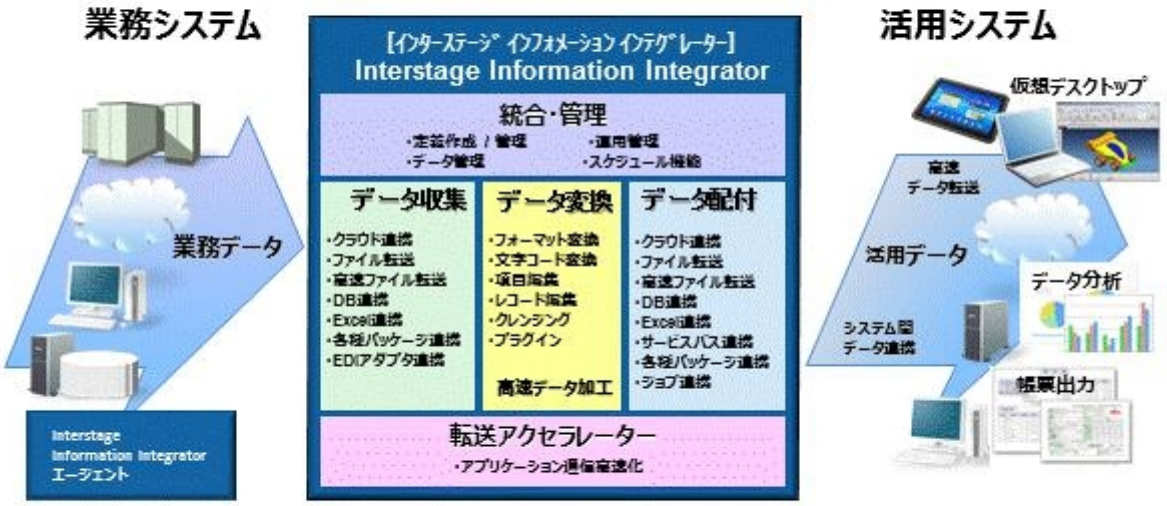
2023年11月 現在

Fujitsu Software
Interstage Information Integrator Enterprise Edition V11a (V11.3.3)
Interstage Information Integrator エージェント V11a (V11.3.3)

Interstage Information Integrator Enterprise Edition は、Interstage Information Integrator Standard Editionの機能に加えて、サーバーに搭載されているマルチコア、大量メモリを有効に活用する動的パフォーマンス最適化技術により、データ量や形式の増加に影響されない情報利活用を実現します。

Interstage Information Integrator Enterprise Editionは、Syncsort（本社：米国）の「DMExpress」を、Interstage Information Integratorに組み入れ、上位エディションとして提供するものです。

Interstage Information Integrator エージェントは、Interstage Information Integrator Standard / Enterprise Edition V11aの連携先業務システムにおけるデータの収集・配付処理の構築・運用を支援します。



Copyright 2023 Fujitsu Limited

適応機種　概要

- **Interstage Information Integrator Enterprise Edition サーバ**

  PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **Interstage Information Integrator エージェント**

  PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **運用管理クライアント機能**

  PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **定義クライアント機能**

  PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **転送アクセラレーター機能**

  PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **転送アクセラレーターのゲートウェイ機能(他プラットフォームについては留意事項参照)**

  PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **転送アクセラレーターのクライアント機能**

  FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント / スマートデバイス(留意事項参照)

- **DMExpress GUI**

  PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

Copyright 2023 Fujitsu Limited

適応OS　概要

- **Interstage Information Integrator Enterprise Edition サーバ**

  Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

- **Interstage Information Integrator エージェント**

  Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

- **運用管理クライアント機能**

  Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **定義クライアント機能**

  Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **転送アクセラレーター機能**

  Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

- **転送アクセラレーターのゲートウェイ機能(他プラットフォームについては留意事項参照)**

  Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

- **転送アクセラレーターのクライアント機能**

  Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 / スマートデバイス用OS(留意事項参照)

- **DMExpress GUI**

  Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

Copyright 2023 Fujitsu Limited

1. Interstage Information Integrator Enterprise Editionの機能範囲

Interstage Information Integrator Enterprise Editionは、Syncsort社の「DMExpress」を組み入れることにより、Interstage Information Integrator Standard Editionの機能に加え、以下の機能を提供します。

2. 用語の説明

・Interstage Information Integrator サーバ

Interstage Information Integratorを利用するためのサーバ機能です。収集、変換、配付の一連の処理を行います。

・Interstage Information Integrator Enterprise Editionサーバ

Interstage Information Integrator Enterprise Editionのサーバ機能です。

Interstage Information Integrator サーバと、DMExpressサーバを含みます。

・Interstage Information Integrator エージェント

連携先のシステムで動作し、データの変換・収集を支援するInterstage Information Integratorのオプション製品の機能です。

・運用管理クライアント機能

Webブラウザを使用して、業務の実行に関する操作や運用状況の監視を行う機能です

・定義クライアント機能

デザインシートや定義作成/管理GUIを使用して、定義作成、登録するための機能です。

・転送アクセラレーター機能

TCPアプリケーション通信の高速化を行う転送アクセラレーターのサーバ機能です。

・転送アクセラレーターのクライアント機能

転送アクセラレーター機能と接続し、クライアントアプリケーションの通信を高速化する機能です。クライアントアプリケーションが動作する機器に導入します。

・転送アクセラレーターのゲートウェイ機能

転送アクセラレーター機能と接続し、クライアントアプリケーションの通信を高速化する機能です。クライアントアプリケーションが動作する機器と転送アクセラレーター機能が動作するサーバとの間でゲートウェイとなるサーバに導入します。

・DMExpressサーバ

高速データ加工のサーバ機能です。データ入力、加工、出力などのETL処理の「ジョブ」や、個々の独立したデータ処理単位の「タスク」の実行と監視ができます。

・DMExpress GUI

Windows システムにインストールされ、高速データ加工の「ジョブ」や「タスク」の開発と起動を支援するグラフィカルインタフェースです。

3. 高速データ加工

DMExpress GUIを使って、あらゆるデータ変換アプリケーションの設計やスケジュール設定、管理ができます。

データレコードは、データベーステーブル、SAP システム、フラットファイル、XML ファイル、パイプ、バッファ、メモリ内の個々のレコードのいずれからでも入力可能で、適切な出力に集計、結合、ソート、マージ、コピーできます。出力前に、レコードはフィルタリングまたはリフォーマット、あるいは変換が可能です。

レコードレイアウト、ビジネスルール、変換定義、実行履歴、データ統計を含むメタデータは、特定のタスク内またはセントラルリポジトリ内で管理できます。レコードレイアウトの変更によるアプリケーションへの影響は、影響分析や系統分析を実施することで判断できます。

データ変換は、サーバと Windows サーバのデスクトップから直接実行したり、後で実行するようにスケジュール設定したり、バッチスクリプトで埋め込んだり、あるいは独自のプログラムで呼び出すことが可能です。

・DMExpress GUI

Copyright 2023 Fujitsu Limited

- タスクエディタ

個々のタスクの定義や特定、テストに使用します。

- ジョブエディタ

タスクをグループ化して即時実行あるいは後で実行、ならびに影響分析を行います。

- [DMExpress サーバ] ウィンドウ

DMExpress サーバ上にあるジョブや環境変数、サーバグリッドに関する情報にアクセスできます。

- グローバル検索

ジョブとタスク全体に対して特定の値を検索します。

・クラウド連携

Salesforce.com上のオブジェクトの抽出/格納/更新ができ、オンプレミスとクラウド(Salesforce.com)間のデータ連携が可能です。

また、クラウドストレージとの間でデータの入出力が可能です。

クラウドストレージ：Amazon S3、Google Cloud Storage

・データベース連携

GUI上からデータベースに接続し、効率的にデータベースと連携を行う処理が作成できます。

RDBMS : Symfoware Server(Openインタフェース)、Enterprise Postgres、Oracle Database、Microsoft SQL Server、My SQL、IBM DB2 / UDB、Amazon Redshift、IBM Netezza、Sybase ASE、Sybase IQ、Teradata、Vertica、Greenplum

NoSQL : Apache Cassandra、Apache HBase、MongoDB

・対応データ形式

JSON形式データの入力、Tableau形式、QlikView(QVX形式)データの出力が設定できます。

・開発生産性・利便性

ETL処理をテキストベースで記述できるDMExpress独自のDTL言語(データ変換言語)を提供し、GUI以外の方法によるデータ処理実装を可能とすることで、利用者の開発生産性が向上します。

※Interstage Information Integrator Enterprise Editionに含まれるInterstage Information Integrator Standard Editionの機能については、Interstage Information Integrator Standard Editionのソフトウェアガイドを参照してください。

4. Interstage Information Integratorの機能と商品の対応

Interstage Information Integratorの機能と商品の対応は以下の通りです。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

機能と商品の対応

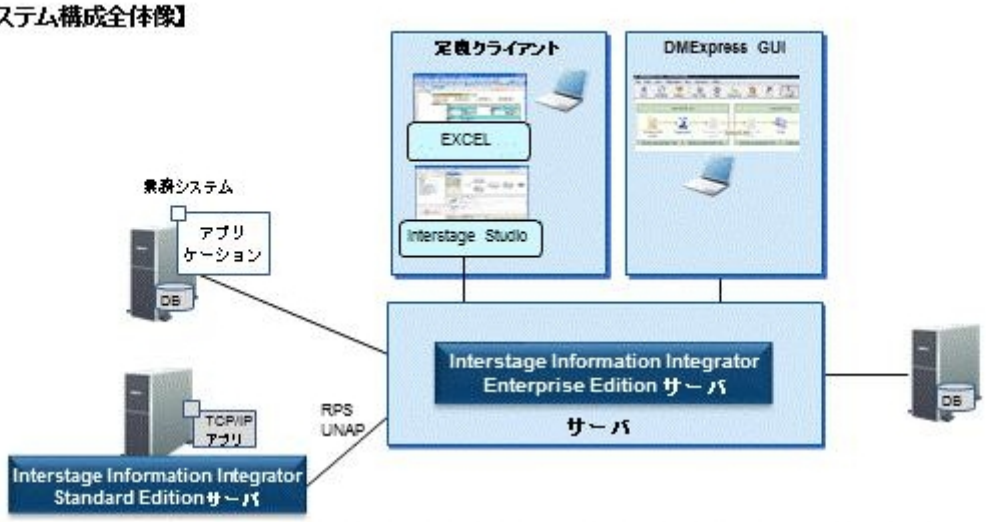
項目		製品	Interstage Information Integrator Enterprise Edition	Interstage Information Integratorエージェント
収集／配付		ファイル転送	○	○(FTP+のみ)
		DB連携	○	○(ローカルのみ)
		Excelファイル連携	○	○
		クラウド連携	○	－
		帳票連携	○	－
		Interstage Information Storage連携	○	－
		業務パッケージ連携(SAP)	○	－
		EDIアダプタ連携(ACMS EDI-BASE)	○	－
		エンタプライズ・サービスバス連携	○	－
		高速ファイル転送	○	－
転送アクセラレーター			○	－
変換		文字コード変換、項目編集、レコード編集	○	○
		並列加工	○	－
統合・管理	定義クライアント	定義作成/管理GUI(III Studio)	○	－
		デザインシート	○	－
	運用管理	業務実行操作	○	－
		運用状況監視	○	－
データ管理			○	○
エージェント管理			○	－
スケジュール機能			○	－

○:サポート、－:サポート対象外

Copyright 2023 Fujitsu Limited

システム/機能構成図

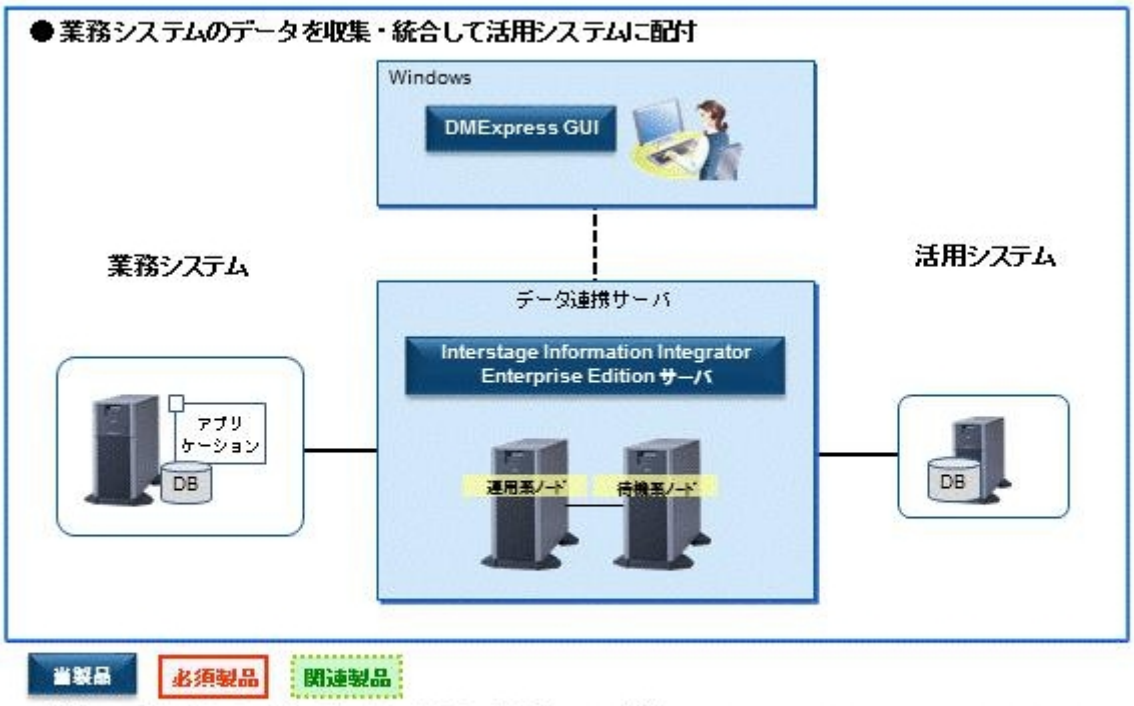
【システム構成全体像】



● Interstage Information Integrator Enterprise Editionは、Interstage Information Integrator Standard Editionの機能を包含しています。 Interstage Information Integrator Standard Editionに含まれるデータ収集・配布の機能を利用する場合のシステム構成については、 Interstage Information Integrator Standard Editionのシステム構成を参照してください。
● Interstage Information Integrator Standard Editionは、Interstage Information Integrator Standard Editionに含まれる高速ファイル転送機能または転送アクセラレーター機能を利用してデータ収集を行う場合、収集元のサーバに導入します。

Interstage Information Integrator Enterprise Edition、Interstage Information Integrator Standard Editionを組み合わせたシステムの構成例を以下に示します。

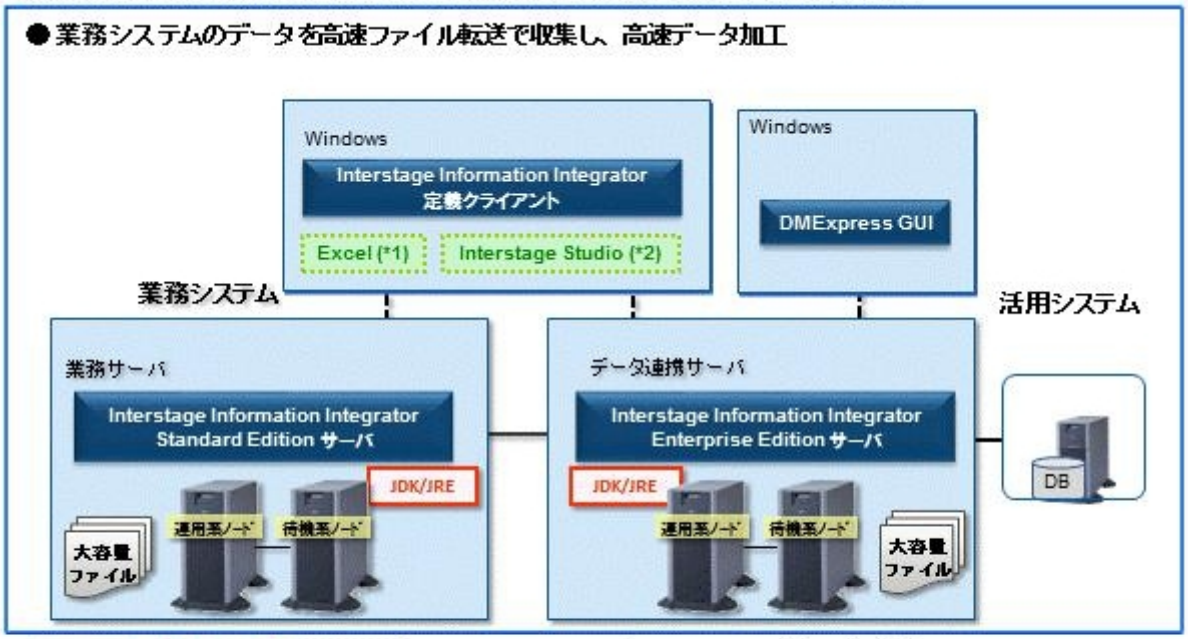
【構成例1】Interstage Information Integrator Enterprise Edition のみ適用



・DMExpress GUIは、Interstage Information Integrator Enterprise EditionサーバがWindowsサーバである場合、同一のサーバへの導入が可能です。
・1台の DMExpress GUIに対し、複数台のInterstage Information Integrator Enterprise Editionサーバを接続して使用することが可能です。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

【構成例2】 Interstage Information Integrator Enterprise Editionと高速ファイル転送機能を適用

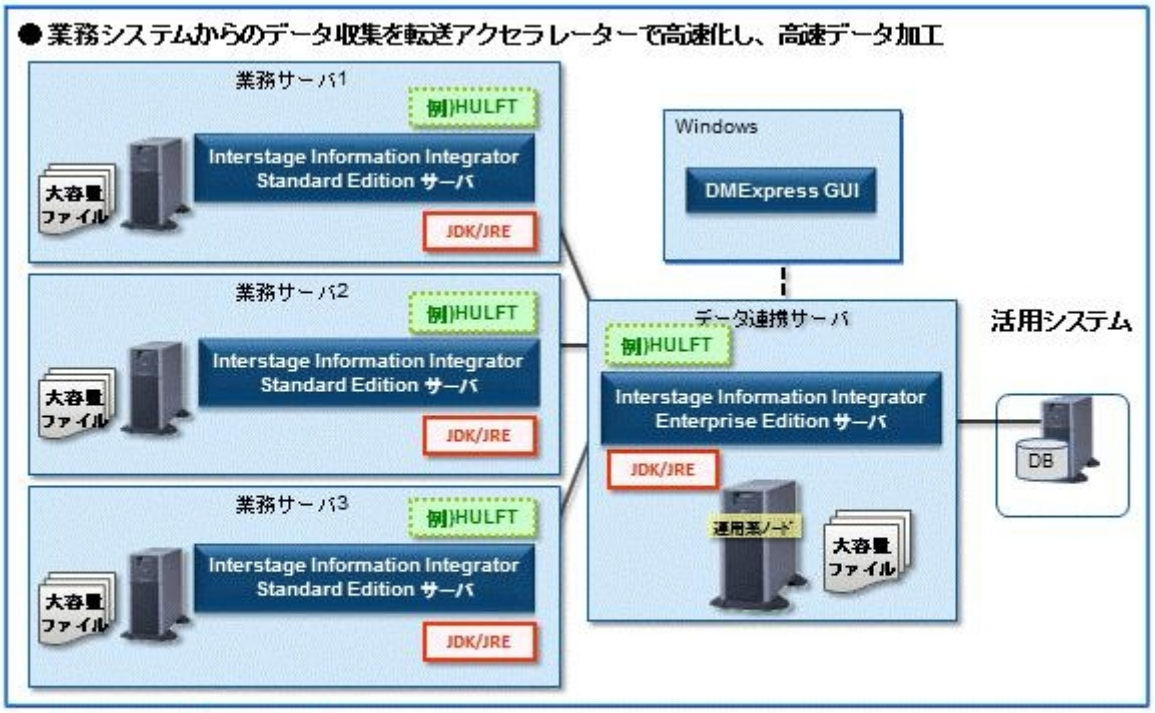


当製品　必須製品　関連製品

*1：デザインシートを使用する際に必要
*2：定義作成管理GUI(III Studio)を使用する際に必要

・定義クライアントは、Interstage Information Integratorサーバと同一のサーバへの導入が可能です。
・1台の定義クライアントに対し、複数台のInterstage Information Integratorサーバを接続することが可能です。
　また、1台のInterstage Information Integratorサーバに対し、複数台の定義クライアントを接続することも可能です。
　ただし、いずれの場合も同時に複数台接続して使用することはできません。
・DMExpress GUIは、Interstage Information Integrator Enterprise EditionサーバがWindowsサーバである場合、同一のサーバへの導入が可能です。
・1台のDMExpress GUIに対し、複数台のInterstage Information Integrator Enterprise Editionサーバを接続して使用することが可能です。
・JDK/JREは、Interstage Application Serverに含まれるソフトウェアを使用してください。

【構成例3】 Interstage Information Integratorと転送アクセラレーター機能を適用



当製品　必須製品　関連製品

・DMExpress GUIは、Interstage Information Integrator Enterprise EditionサーバがWindowsサーバである場合、同一のサーバへの導入が可能です。
・1台のDMExpress GUIに対し、複数台のInterstage Information Integrator Enterprise Editionサーバを接続して使用することが可能です。
・JDK/JREは、Interstage Application Serverに含まれるソフトウェアを使用してください。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

V11.3.1からV11.3.3の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. 関連製品の対応

以下の関連製品の新しいバージョン・レベルに対応します。

・Enterprise Postgres Advanced Edition 12/12SP1/13/13SP1
・Enterprise Postgres Standard Edition 12/12SP1/13/13SP1
・Symfoware Server Enterprise Edition V12.6.0
・Symfoware Server Standard Edition V12.6.0
・Symfoware Server Enterprise Extended Edition V12.6.0
・Oracle Database Enterprise Edition 19c
・Oracle Database Standard Edition2 19c

Copyright 2023 Fujitsu Limited

標準添付品

- **オンラインマニュアル**
  - Interstage Information Integrator システム設計ガイド
  - Interstage Information Integrator セットアップガイド
  - Interstage Information Integrator 運用ガイド
  - Interstage Information Integrator コマンドリファレンス
  - Interstage Information Integrator メッセージ集
  - Interstage Information Integrator 転送アクセラレーターセットアップガイド
  - Interstage Information Integrator マニュアル体系と読み方
  - Interstage Information Integrator リリース情報
  - Interstage Information Integrator 用語集
  - Interstage Information Integrator ESB連携機能導入運用ガイド
  - DMExpress ActiveX 参照
  - DMExpress シェル関数参照
  - DMExpress API参照
  - DMExpress データコネクタ API参照
  - DMExpress データコネクタ API参照(Java)
  - DMExpress データ変換言語リファレンスガイド
  - DMExpress DMExpressを使用してVerticaデータベースをロードする
  - DMExpress ユースケースアクセラレータ

Copyright 2023 Fujitsu Limited

商品体系

【メディア】

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition メディアパック (64bit) V11a (V11.3.3)(注1)

・Interstage Information Integrator エージェント メディアパック (64bit) V11a (V11.3.3)(注2)

【永続ライセンス】

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition 運用ノード コアライセンス V11a

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition 待機ノード コアライセンス V11a

・Interstage Information Integrator エージェント プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V11a (※)

・Interstage Information Integrator 1クライアントライセンス (1年間24時間サポート付) V11a (※)

・Interstage Information Integrator 20クライアントライセンス (1年間24時間サポート付) V11a (※)

※:本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

【サブスクリプションライセンス／サポート】

・Interstage Information Integrator エージェント プロセッサライセンス for Linux (SL&S)

・Interstage Information Integrator 1クライアントライセンス (SL&S)

・Interstage Information Integrator 20クライアントライセンス (SL&S)

注1）本メディアは以下のコンポーネントを含みます。

- Interstage Information Integrator 定義クライアント
- Interstage Information Integrator クライアント
- Interstage Information Integrator 転送アクセラレーター機能
- Interstage Information Integrator 転送アクセラレーターのゲートウェイ機能
- Interstage Information Integrator 転送アクセラレーターのクライアント機能

注2)本メディアは以下のコンポーネントを含みます。

- Interstage Information Integrator 運用管理クライアント

Copyright 2023 Fujitsu Limited

購入方法

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（DVD）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。

【永続ライセンス】

商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ／レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

【サブスクリプションライセンス／サポート】

初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス／サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ／レベルアップすることはできません。

バージョンアップ／レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. コアライセンスについて

(1) コアライセンスとは

コアライセンスは、サーバーに搭載され稼働しているコア数分の購入が必要なライセンスです。

(2) クラスタシステムで運用する場合

運用ノードでは、サーバーに搭載され稼働しているコア数分の運用ノードコアライセンスの購入が必要です。

また、待機ノードでは、運用ノードとして稼働する可能性のあるコア数分の待機ノードコアライセンスの購入が必要です。

なお、本商品でサポートするクラスタ構成は、1対1運用待機形態です。

3. プロセッサライセンスについて

(1) プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要となるライセンスです。

・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。

・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

(2) クラスタシステムで運用する場合

本商品でサポートするクラスタ構成は、1対1運用待機形態です。

2ノードを1システムと考えて、1システムに本商品を1本購入することで使用できます。

4. クライアントライセンスについて

転送アクセラレーターのクライアント機能を利用するために必要となるライセンスです。

ただし、転送アクセラレーターのゲートウェイ機能はインストールフリーです。

Interstage Information Integrator Enterprise Editionをインストールしたサーバに接続し、高速なデータ転送を行うクライアント機能が動作する機器(Windows PCやスマートデバイス)の台数分、Interstage Information Integrator のクライアントライセンスが必要です。

※本ライセンスは、Windows、Linux、Solaris共通ライセンスです。

5. エージェントのプロセッサライセンス購入に関する注意事項

Copyright 2023 Fujitsu Limited

Interstage Information Integrator エージェントは、導入する先の業務システムのプラットフォームに合わせた製品を購入してください。

また、以下の機能を使用する場合は、Windows版Interstage Information Integrator エージェントを購入してください。

- Excel形式のデータ受け渡しを行う場合
- SQL Azureとのデータ受け渡しを行う場合

6. 運用管理クライアント機能について

運用管理クライアント機能は、Interstage Information Integratorサーバに接続して、業務の実行操作や運用状況の監視を行うことができます。

台数に関係なくサーバに接続して使用できます。

7. 定義クライアント機能について

定義クライアント機能はクライアント数に制限なくインストールできます。

8. DMExpress GUIについて

Interstage Information Integrator Enterprise Editionのライセンスを購入済の場合、インストールして利用することができます。

・WindowsクライアントPCの場合

複数台のWindowsクライアントPCにインストールすることができます。

・Windowsサーバの場合

Interstage Information Integrator Enterprise Editionライセンスの追加購入が必要です。当該Windowsサーバの搭載CPUに応じたライセンスを購入してください。

9. 購入例

以下のシステム構成の場合、購入対象商品と購入数は下記のようになります。

注1:プロセッサコア数とは、プログラムをインストールする物理的なコンピュータに搭載される物理的なプロセッサコアの内、利用可能な数を指します

注2:待機ノードでは、運用ノードとして稼働する可能性のあるコア数を指します

注3:コア係数とは、マルチコアプロセッサにおける、コアの総数に乗じる係数です

注4:小数点以下は切り上げ

【構成例1】 Interstage Information Integrator Enterprise Edition のみ使用する場合

Interstage Information Integrator Enterprise Edition サーバの導入サーバ(デュアルコア2CPU構成)クラスタ運用 :1台

DMExpress GUIの導入PC:1台

〔対象製品と購入数〕

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition メディアパック(64bit) V11a (V11.3.3)

→ インストール作業に必要な枚数

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition 運用ノードコアライセンス V11a

(1)1台毎のライセンス数

プロセッサ数(2CPU)×プロセッサコア数(2コア)(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値×サーバ台数(1台)

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition 待機ノードコアライセンス V11a

(1)1台毎のライセンス数

Copyright 2023 Fujitsu Limited

プロセッサ数(2CPU)×プロセッサコア数(2コア)(注2)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値×サーバ台数(1台)

【構成例2】Interstage Information Integrator Enterprise Editionと高速ファイル転送機能を適用

Interstage Information Integrator Enterprise Edition サーバの導入サーバ(64bit 4コア 2CPU構成) クラスタ運用:1台

Interstage Information Integrator Standard Edition サーバの導入サーバ(64bit 2コア 1CPU構成)クラスタ運用:1台

Interstage Information Integrator 定義クライアントの導入PC :1台

DMExpress GUIの導入PC:1台

〔対象製品と購入数〕

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition メディアパック(64bit) V11a (V11.3.3)

→ インストール作業に必要な枚数

・Interstage Information Integrator Standard Edition メディアパック(64bit) V11a (V11.3.3)

→ インストール作業に必要な枚数

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition 運用ノードコアライセンス V11a

(1)1台毎のライセンス数

プロセッサ数(2CPU)×プロセッサコア数(4コア)(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値×サーバ台数(1台)

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition 待機ノードコアライセンス V11a

(1)1台毎のライセンス数

プロセッサ数(2CPU)×プロセッサコア数(4コア)(注2)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値×サーバ台数(1台)

・Interstage Information Integrator Standard Edition プロセッサライセンス V11a

(1)1台毎のコア総数×マルチコア係数

1CPU×2コア×コア係数(注3)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注4)×サーバ台数(1台)

【構成例3】Interstage Information Integrator と転送アクセラレーター機能を適用

Interstage Information Integrator Enterprise Edition サーバの導入サーバ(64bit 4コア 2CPU構成) :1台

Interstage Information Integrator Standard Edition サーバの導入サーバ(64bit 2コア 1CPU構成):3台

DMExpress GUIの導入PC:1台

〔対象製品と購入数〕

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition メディアパック(64bit) V11a (V11.3.3)

→ インストール作業に必要な枚数

Copyright 2023 Fujitsu Limited

・Interstage Information Integrator Standard Edition メディアパック(64bit) V11a (V11.3.3)

→ インストール作業に必要な枚数

・Interstage Information Integrator Enterprise Edition 運用ノードコアライセンス V11a

(1)1台毎のライセンス数

プロセッサ数(2CPU)×プロセッサコア数(4コア)(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値×サーバ台数(1台)

・Interstage Information Integrator Standard Edition プロセッサライセンス V11a

(1)1台毎のコア総数×マルチコア係数

1CPU×2コア×コア係数(注3)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注4)×サーバ台数(3台)

10．V11からのバージョンアップ／レベルアップについて

V11以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン／レベルを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。） 「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン／レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。 なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

11．ダウングレード使用（旧バージョン または 旧レベル商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョン または 旧レベルを使用)する権利はありません。

対象のバージョン または レベルを使用する場合は、対象のバージョン または レベルに対応したライセンスをご購入ください。

12．ダウングレード について

本ソフトウェアガイドにダウングレード使用についての記載がある場合、サブスクリプションライセンス&サポート製品には適用されないものとします。

13．購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス／サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

[Interstage Information Integrator エージェント プロセッサライセンス for Linux (SL&S)に適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の「付録3. ライセンス数」のライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) 同梱する機能の使用について

お客様は、対象プログラムに含まれるSymfoware® Serverを本許諾書の定めに従って使用する目的でのみ使用できます。

それ以外の目的では使用できません。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

[Interstage Information Integrator 1クライアントライセンス (SL&S) / 20クライアントライセンス (SL&S)に適用されるライセンス使用条件]

適用なし。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

関連ソフト

1. データベース入出力を行う場合

データベース入出力を行う場合に利用できる製品は以下の通りです。

・Symfoware Server Standard Edition V12(Openインタフェース)
・Symfoware Server Enterprise Edition V12(Openインタフェース)
・Enterprise Postgres 9.5/9.6/10/11/12/12SP1/13/13SP1
・Oracle Database 11g以降
・Microsoft SQL Server 2008以降
・My SQL 5.1.73以降
・IBM DB2 / UDB 9.7以降
・Amazon Redshift
・IBM Netezza 7.0以降
・Sybase ASE 15.0以降
・Sybase IQ 15.0以降
・Teradata TD14以降
・Vertica 8以降
・Greenplum 4.2以降
・Apache Cassandra
・Apache Hbase
・MongoDB

なお、各データベース製品のクライアントソフトウェアを導入する必要があります。

2. クラスタ運用を行う場合

クラスタ運用を行う場合は、以下のいずれかの商品が必要です。
本商品でサポートする待機形態は、1対1運用待機です。

・PRIMECLUSTER 4.3以降

3. 上記以外の関連ソフトについて

Interstage Information Integrator Standard Editionのソフトウェア・ガイドを参照してください。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

動作保証周辺機器

なし

Copyright 2023 Fujitsu Limited

留意事項

1. Intel64環境上での動作

本商品は、以下のディストリビューションの環境で64ビットアプリケーションとして動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

2. Windows サーバOS(64-bit)上での動作

定義クライアント、運用管理クライアント機能、転送アクセラレーター機能、転送アクセラレーターのクライアント機能、転送アクセラレーターのゲートウェイ機能およびDMExpress GUIは、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2016(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

3. Windows デスクトップOS(64-bit)での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32bitアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)(注1)
- Windows 8.1(64-bit)(注1)

注1)Windows 32-bit On Windows 64-bit

4. エージェントの統合管理を使用する場合の留意事項

Interstage Information Integrator エージェントの統合管理を行う場合、Interstage Information Integrator エージェントと Interstage Information Integrator Enterprise Editionは同一レベルにする必要があります。

5. Server Coreインストールでの注意事項

以下の環境では、Server Coreインストールでの運用はサポートされていません。

・Windows Server 2019(64-bit)
・Windows Server 2016(64-bit)

以下の環境では、Nano Serverでの運用はサポートされていません。

・Windows Server 2016(64-bit)

6. IPv6対応の注意点

IPv6/IPv4デュアルスタック環境での運用のみをサポートします。

7. インストールについて

本商品はDVDで提供されます。

インストールにはDVDドライブユニットが必要です。

DVDドライブユニットが搭載されていないマシンの場合は、別途、手配が必要です。

なお、DVDドライブユニットが搭載できない場合は、DVDドライブユニットが搭載されているサーバ（PRIMEQUEST、PRIMERGYまたはFMV等）のDVDドライブをネットワークドライブとして割り当て後、ネットワーク経由でインストールしてください。

8. スマートデバイスを利用した運用について

Copyright 2023 Fujitsu Limited

本商品の転送アクセラレーターのクライアント機能は、スマートデバイスでのアプリケーションを利用した運用に対応しています。

詳細は、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（スマートデバイスにおける動作条件）」を参照してください。

なお、スマートデバイスを利用した運用についての留意事項を以下に記述します。

(1) 内蔵メモリ、データフォルダ容量について

内蔵メモリ容量　　：1GB以上推奨

データフォルダ容量：30MB以上

(2)スマートデバイスへの導入

以下のいずれかの方法により、スマートデバイスにInterstage Information Integrator Enterprise Editionメディアパック内の転送アクセラレーターのクライアント機能を導入する必要があります。

- 転送アクセラレーターのクライアント機能を電子メールで各スマートデバイスへ配付してインストール

- 転送アクセラレーターのクライアント機能をお客様の管理部門にてWebサーバで公開し、スマートデバイスへダウンロードしてインストール

(3) 必須ソフトウェア

通信先の業務サーバに以下の製品を導入する必要があります。

- Interstage Information Integrator Enterprise Edition V11a

9．転送アクセラレータのゲートウェイ機能の適応機種/適応OSについて

本資料冒頭の適応機種 / 適応OSの他に以下にも適応します。

【適応機種】

SPARC Enterprise

PRIMEPOWER

FUJITSU Cloud Service for SPARC

【適応OS】

Windows Server 2019(64-bit)

Windows Server 2016(64-bit)

Oracle Solaris 11 (日本語環境のみ)

10．仮想環境で運用される場合の留意事項

Hyper-V、VMWareおよびLinux仮想マシン機能で運用される場合の留意事項を説明します。

(1)Hyper-V

・運用中のライブマイグレーションは、プロセスが動作していない場合のみ可能です。

・運用中のクイックマイグレーションは、プロセスが動作していない場合のみ可能です。

・Interstage Information Integrator各定義登録前のインポート/エクスポートは可能です。登録後はエクスポート先の環境に合わせた定義変更が必要です。

・Hyper-V レプリカによる切り替え時は、最終複製作成時点と災害発生時点の間に変更した定義、および本製品で処理したデータは失われます。

・HICSプロトコルは、サポート対象外です。

(2)VMWare

・VMware vSphere vMotionによるオンラインマイグレーションは、プロセスが動作していない場合のみ可能です。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

・HA動作時は、ファイル転送やDB格納等が実行中に切替えが発生した場合は、切替え後に再実行する必要があります。

・Interstage Information Integrator各定義登録前のクローニングは可能です。登録後はクローニング先の環境に合わせた定義変更が必要です。

・DR動作による切り替え時は、最終複製作成時点と災害発生時点の間に変更したInterstage Information Intergratorの定義、ファイル転送やDB格納等で処理したデータは失われます。

・HICSプロトコルは、サポート対象外です。

(3)Linux仮想マシン機能

・運用中のライブマイグレーションは、プロセスが動作していない場合のみ可能です。

・Interstage Information Integrator各定義登録前のクローニングは可能です。登録後はクローニング先の環境に合わせた定義変更が必要です。

11．旧版との差異

V11.3.3より、以下のOSはサポート対象外となります。

・定義クライアント機能

・転送アクセラレーターのクライアント機能

・DMExpress GUI

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2012

・Interstage Information Integrator サーバ

・Interstage Information Integrator エージェント

・転送アクセラレーター機能

・DMExpress サーバ

- Red Hat Enterprise Linux 6

12．上記以外の留意事項について

Interstage Information Integrator Standard Editionのソフトウェア・ガイドを参照してください。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

関連URL

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Interstage Information Integrator）**

  本商品の詳細情報を掲載しています。
  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/business-middleware/interstage/products/infointegrator/

- **ソフトウェア：富士通（スマートデバイスにおける動作条件）**

  スマートデバイスでの動作条件情報を提供しております。
  https://www.fujitsu.com/jp/software/smartdevice/

- **ソフトウェア：富士通（スマートデバイスにおける動作条件）**

  価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。
  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/

- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

  「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。
  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/

Copyright 2023 Fujitsu Limited